整理番号：2-4
提言題名：希望者にはゴミの戸別収集を実施してほしい

【提言の要旨】
現在，家庭ごみは共有のごみステーションに集積され回収されています。現在，取手市では一部，障害者などのやむを得ない方に限っては戸別収集に対応されているようですが，一般の市民に対しても希望者は戸別収集にできるようにしてほしいです。共有のごみステーションは不法投棄の被害に合うこともあり周辺の治安の悪化を懸念します。実際先日，地域のごみステーションに灯油を含む大量の不法投棄がなされ，住人協議の末，市役所に引き取ってもらった経緯があります。当番制の清掃をすることも必要なくなり，各自の責任で自宅のゴミを管理する責任感も出ると思います。
調べてみると，他地域では有料（年間 9 千円弱）でありながらも，戸別回収の希望者は多く，近隣との接点の少ない今の時代にはマッチした方法なのかとも思います。特に新規に開発中のゆめみ野地区はまだ自治会も発足していないところが多く，地域全体のコンセンサスがなされていない状態です。そういった場合，一部の住人に負担が偏り（ごみステーション周辺の住人など）軋轢を生みかねません。どうかご検討のほど，よろしくお願いいたします。
（女性　平成 30 年 9 月受付）

【回答の要旨】
ごみの個別回収については，排出者が特定されることから分別不良の問題に関しては効果を発揮するものの，収集に手間がかかることから作業員の増員等で，ごみ収集業者へ支払う委託料が膨大になることが予想されます。また，取手市の道路状況を踏まえると，起伏の激しい道路やごみ収集車が進入しずらい狭あい道路等にも住宅があることから，個別収集を希望する者を市内全域から募集することは大変困難な状況にあります。以上のことから今後とも集積所によるごみ収集を継続していくものとし，集積所の管理についても利用される皆様で管理していただきますようお願いいたします。
（環境対策課　平成 30 年 9 月回答）